

第36回 工業教育研究発表大会 および ポスターセッション

1. 日 程

- (1) 開催日時 令和2年1月16日(木) 10:00~15:15 紀南文化会館
- (2) 受付 9:30~
- (3) 選考委員打ち合わせ 9:30~
- (4) 開会式 10:00~
- 1) 大会宣言 大会委員長・田辺工業高等学校校長 三角 雅彦
 - 2) 工業部会長挨拶 和歌山工業高等学校校長 西村 文宏
 - 3) 教育委員会祝辞 和歌山県教育庁 学校教育局 県立学校教育課課長 藤田 勝範

- (5) 生徒発表 作文部門(6作) 10:15~ 【1作 4分】
 - 休憩 - 10:45~10:55
 研究部門(5作) 10:55~ 【1作 10分】
 教員発表(1作) 【15分】

※ -昼休憩- 12:15~13:00

- (6) ポスターセッション(20組) 13:10~14:10

- (7) 表彰・閉会式 14:25~15:15
- 1) 選考結果発表 大会委員長・田辺工業高等学校校長 三角 雅彦
 - 2) 作文・研究発表表彰 和歌山県教育研究会工業部会会長 西村 文宏
 - 3) 講評 和歌山県教育庁 学校教育局 県立学校教育課 高校教育指導班 指導主事 阪本 貴弘
 - 4) 選考結果発表(ポスターセッション)
 - 5) ポスターセッション表彰 (わかやま産業を支える人づくりネットワーク)
 - 6) 講評 和歌山県商工観光労働部労働政策参事 大山 茂
 - 7) 閉会の辞 工業部会長 和歌山工業高等学校校長 西村 文宏
- (8) 後片付

2. 選考委員

委員長	田辺工業高等学校	校長	三角	雅彦		
副委員長	和歌山工業高等学校	校長	西村	文宏		
	紀北工業高等学校	教頭	森下	憲一		
	箕島高等学校	校長	宇恵	哲也		
	紀央館高等学校	校長	大西	弘之		
	新翔高等学校	校長	東	啓史		
	田辺工業高等学校	教頭	畠	守彦		
委員	紀北工業高等学校	システム化学科	教諭	中村	裕	
	和歌山工業高等学校	化学技術科	教諭	馬淵	卓雄	
	箕島高等学校	機械科	教諭	松元	雅志	
	紀央館高等学校	工業技術科	教諭	堤	裕彦	
	新翔高等学校	総合学科	教諭	野間	清	

※ポスターセッションについての審査委員は、わかやま産業を支える人づくりプロジェクト校友会企業、学術経験者、経済団体、和歌山県商工観光労働部、和歌山県教育委員会、工業高校等で構成する。

3. 審査基準

作文部門(15点満点)

観 点	適 用	配 点
企 画 性	工業に関する適切な企画であるか	5
構 成	内容が首尾一貫しているか	5
表 現 力	発表の明瞭さ、発表の態度	5

研究部門(25点満点)

観 点	適 用	配 点
企 画 性	工業に関する適切な企画であり、計画が立てられているか	5
創意工夫	研究への取り組みが熱心に進められ、創意工夫があるか	5
成 果	工業技術者としての資質を高めるために役立つものであるか	5
提示資料	資料(表、写真等)の活用が適切であるか	5
表 現 力	発表の明瞭さ、発表の態度	5

4. 採点及び審査

※作文・研究部門

資料についても上記の基準について採点の対象とし、下記の要領で行う。

- 1)各部門において、審査基準に沿って各委員が採点し、集計時に持ち時間超過による減点を行い、これをもとに順位をつける。
- 2)各委員の順位を合計し順位点を求め、選考委員全員で審議の上、総合的に審査する。
- 3)持ち時間の超過は、各選考委員の発表能力の審査（表現力）項目より次の基準で減点する。
 - ・超過時に1点、その後1分毎に1点を減点する。
 - ・計時は工業部会事務局が行う。

※ポスターセッション

- 1)審査基準に沿って、審査員の総合的な審議により各賞を選考する。

5. 生徒発表者表彰

※作文・研究部門

当日、選考委員の採点により部門別に審査し、最優秀賞、優秀賞を選出する。同点の場合は選考委員の多数決投票で決定する。他の発表者には佳良賞を授与する。ただし、各賞の水準に達しないときは保留する。

※ポスターセッション

参加各組に、アイデア賞、研究賞、ポスター賞、発表賞のいずれかを選出し、表彰する。